

# 平成24年度 四万十町の普通会計財務諸表を公表します

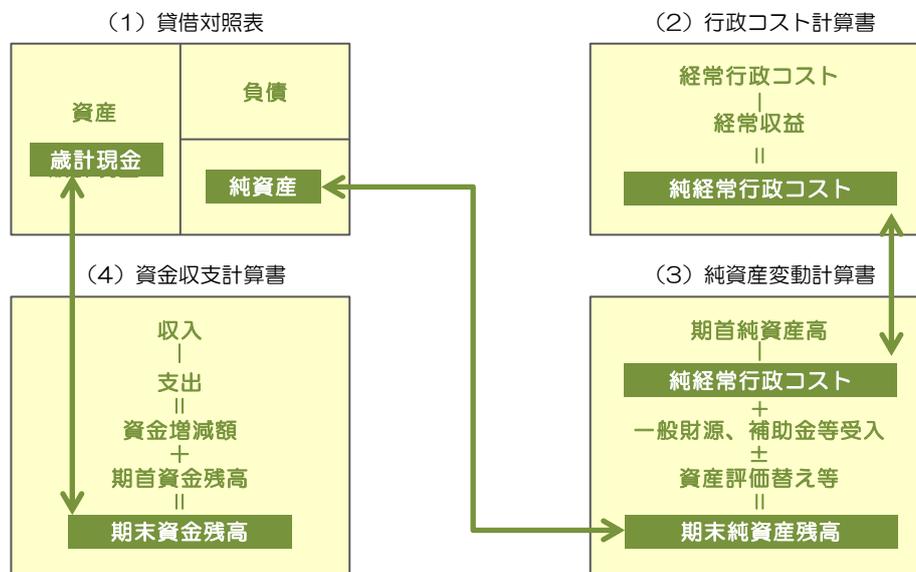
## 新地方公会計制度のはじまり

平成18年8月の「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針（地方行革新指針）」における「新地方公会計制度研究会報告書」で、「地方公共団体財務諸表作成にかかる基準モデル」又は「地方公共団体財務諸表にかかる総務省方式改訂モデル」による普通会計及び連結の財務諸表4表（貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書）を整備すること、との方針が示されたことにより新地方公会計制度が導入されることになりました。

これらの新地方公会計制度に基づく財務諸表は、資産や債務といったストック情報を活用した行政経営の改革改善に活かすことを目的としています。

現在の地方公共団体の会計制度は、その年にどのような収入があり、それを何に使ったかという現金の動きが分かりやすい仕組みになっています。しかし、自治体が今までに整備してきた資産や、行政サービスのコストがどのくらいかかっているかという情報は、分かりにくい点があります。そこで、国が示した基準に基づき、資産・負債などの状況や、行政サービスのコストがどのくらいかかっているかなどを示した4つの財務諸表を作成しました。

財務諸表は、（1）貸借対照表、（2）行政コスト計算書、（3）純資産変動計算書、（4）資金収支計算書の4表です。財務諸表4表の相関関係は次のとおりです。



### ◆ 財務諸表を家計に例えると ◆

#### 貸借対照表

家庭の財産（資産）や住宅ローン残高など借金（負債）、頭金などの負担済み金（純資産）を示したものです。

#### 行政コスト計算書

生活費などの日常的にかかる現金支出と、現金支出を伴わない費用が1年間でどれだけかかっているかを示したものです。現金支出には、家や車などの財産になる支出は含まれません。また、現金支出を伴わない費用とは減価償却費などのことです。

#### 純資産変動計算書

家庭の財産のうち、すでに支払いを終えたものが1年間にどのような内容で増減したかを示しています。

#### 資金収支計算書

家計においての家計簿にあたります。1年間の現金の収入と支出を、日常生活の収支（経常的収支）、財産購入の収支（公共資産整備収支）、借金返済や資金運用（投資・財務的収支）に分けています。

### ◆ 普通会計財務諸表の範囲 ◆

普通会計とは一般会計と特別会計のうち水道事業会計などの公営事業会計を除いた会計を統合し、一つの会計としてまとめたものです。四万十町では以下の会計が普通会計に含まれます。

#### 普通会計

- 一般会計
- 住宅新築資金等貸付事業  
特別会計

# 貸借対照表

Balance Sheet

町がどれほどの資産を所有し、債務を負っているかのバランスを明らかにしたものです。町の資産と、その資産をどのような財源（負債や純資産）で賄ってきたかが分かります。左側にこれまで取得した土地や建物・貯金などの「資産」を、右側にその資産を形成した事による将来世代の負担である「負債」と、これまでの世代が既に負担したものの「純資産」を表しています。

資産の部		負債の部	
【公共資産】	73,173,724	【固定負債】	20,592,454
【投資等】	4,777,192	地方債	17,733,309
投資及び出資金	537,581	退職手当引当金	2,835,530
基金等	3,717,678	…将来の退職給付支払の見込み額	
その他	521,933	その他	23,615
【流動資産】	3,773,978	【流動負債】	3,558,057
現金・預金	3,738,274	翌年度償還予定地方債	2,083,433
(うち歳計現金)	(627,011)	…一年以内に償還期限の到来する地方債	
未収金	35,704	賞与引当金	102,049
		…将来支払う事になるであろう賞与	
		その他	1,372,575
		負債合計	24,150,511
		純資産の部	
		純資産合計	57,574,383
資産合計	81,724,894	負債及び純資産合計	81,724,894

(単位：千円)



- ・「公共資産」… 家や家具や車など
- ・「投資等」… 定期預金や積立保険金や株など
- ・「流動資産」… 普通預金やタンス預金など
- ・「負債」… まだ払い終わっていないローン残高や子供に将来かかる進学費用など

住民一人あたりが納めたお金 総額		約429万6600円	
		(昨年度：約421万5800円)	
資産の部		負債の部	
【公共資産】	約384万7000円	【固定負債】	約108万2600円
【投資等】	約25万1200円	【流動負債】	約18万7100円
【流動資産】	約19万8400円	純資産の部	
		【純資産】	約302万6900円

### 主な財政用語について

**【資産の部】** 道路、小・中学校など公共施設の現在価値のほか、他団体に対する出資金や預金など、これまで積み上げてきた金額。  
**【負債の部】** 借入金などの残高、退職手当の引当金など、将来の世代が負担しなければならぬ金額。  
**【純資産の部】** 資産のうち税金などによって形成され、これまでの世代が負担した金額。  
**【公共資産】** 自治体が所有する資産（公共施設）のうち、長期間にわたって行政サービスの提供に使用される資産。  
**【投資等】** 自治体が保有する有価証券や、公営企業・関係団体への出資金などの総額。  
**【流動資産】** 原則として1年以内に現金化される資産や、現金・預金・地方税などの未収金の総額。  
**【固定負債】** 長期借入金や退職給与引当金など、返済期限が1年以上の負債。  
**【流動負債】** 1年以内の返済が可能な買掛金や短期借入金など、負債。

# 行政コスト計算書

Profit and Loss statement

企業会計における損益計算書の自治体版で、利益の追求を目的とする企業とは違い、営利を目的としない行政サービスの提供にどれだけの費用（コスト）がかかったかを表しています。コストは「人にかかるコスト」や「物にかかるコスト」など、コストの性質別に集計したものと、教育や福祉といった行政サービスの目的別に集計したものがあります。

区分	金額
人にかかるコスト（人件費など）	2,125,417
物にかかるコスト（物件費など）	5,027,257
移転支出的なコスト（社会保障費・補助金など）	4,326,354
その他のコスト（支払利息など）	1,581,271
経常費用	13,060,299
使用料・手数料	268,228
分担金・負担金・寄付金	77,742
経常収益	345,970
純経常行政コスト	12,714,329

(単位：千円)



- ・「人にかかるコスト」 … 食費など
- ・「物にかかるコスト」 … 水道光熱費・日用品費・旅費など
- ・「移転支出的なコスト」 … 医療費・御祝儀・お見舞金など
- ・「その他のコスト」 … 借金の利子など

## 住民一人あたりに使ったお金 総額

約68万6600円

(昨年度：約64万2500円)

人にかかったコスト 約11万1700円 移転支出的なコスト 約22万7500円 その他のコスト 約8万3100円  
物にかかったコスト 約26万4300円



### 主な財政用語について

- 【人にかかるコスト】職員給与のほか、賞与引当金や退職手当引当金の繰入額。
- 【物にかかるコスト】行政サービスに必要な経費、施設などの維持管理費、減価償却費などの総額。
- 【移転支出的なコスト】補助金や社会保障給付（生活保護費や児童手当など）にかかる費用の総額。
- 【その他のコスト】借金（地方債・一時借入金）の支払利息や、回収不能となった税金などの見込額、災害の復旧にかかった費用の総額。
- 【経常費用】自治体の行政活動にかかった費用。
- 【使用料・手数料】自治体の施設を利用した際や、戸籍や住民票、税務証明の発行などに対し徴収する金額。
- 【分担金・負担金・寄付金】特定の事業に要する経費に充てるために、その事業によって利益を受ける住民や会社が一割を負担するお金。
- 【経常収益】行政サービスの対価として徴収する手数料や負担金などの収入。
- 【純経常行政コスト】経常行政コストの総額から経常収益を差し引いた額。

# 純資産変動計算書

Net Worth matrix

純資産（資産から負債を差し引いた残り）が、今年度中にごのように増減したのかを明らかにしたものです。総額としての純資産の変動とともに、こういった財源や要因で増減したのかを表しています。

区分	金額
前年度末の残高	58,388,478
純経常行政コスト	-12,714,329
経常的な収入 (地方税・地方交付税など)	12,200,565
臨時損益 (災害復旧事業費・投資損失など)	-303,856
その他	3,525
当年度末の残高	57,574,383

(単位：千円)

**主な財政用語について**

【前年度末の残高(期首純資産残高)】  
前年度末の貸借対照表における純資産残高。

【純経常行政コスト】  
行政コスト計算書で算出した経常行政コストから、受益者負担金などの経常収益を差し引いた額。

【経常的な収入】  
収益のうち、地方税や地方交付税など。

【臨時損益】  
特別の事由(災害復旧事業費・公共資産売却損益・投資損失など)に基づく臨時の損益。

【当年度末の残高(期末純資産残高)】  
当年度末の貸借対照表における純資産残高。

# 資金収支計算書

Cash Flow

「キャッシュ＝お金(現金)」の「フロー＝流れ」を明らかにしたものです。町の収支をその性質に応じて、経常的収支、公共資産整備収支、投資・財務的収支に分けて、町のどのような活動に資金が必要なのかを表しています。

区分	金額
前年度末の残高	642,192
経常的収支 (税収・国庫支出金・人件費など)	3,623,330
公共資産整備収支 (国県補助金など)	-814,743
投資・財務的収支	-2,823,768
当年度の資金変動額	-15,181
当年度末の残高	627,011

(単位：千円)

**主な財政用語について**

【経常的収支】  
行政サービスの提供が必要となる人件費や物件費などの支出と、地方税や地方交付税などの税収などによる収入。

【公共資産整備収支】  
道路や施設の取得のための支出や、公共資産の整備などによる支出と、その財源になる補助金や借入金などの収入。

【投資・財務的収支】  
基金への積立額や公債の償還額のための支出と公債発行収入や貸付金の回収額等の収入。





# 行政コスト計算書

〔 自 平成24年4月 1日  
至 平成25年3月31日 〕

## 【経常行政コスト】

(単位：千円)

	総 額	(構成比率)	生活インフラ・ 国土保全	教 育	福 祉	環 境 衛 生	産 業 振 興	消 防	総 務	議 会	支 払 利 息	回収不能 見込計上額	その他
1	(1)人件費	1,853,384	14.2%	103,532	227,047	337,935	121,717	191,999	23,921	760,094	87,139		0
	(2)退職手当引当金繰入等	169,984	1.3%	7,222	25,030	45,340	16,640	22,882	0	50,619	2,251		0
	(3)賞与引当金繰入額	102,049	0.8%	3,105	13,019	19,377	6,979	10,274	1,372	42,926	4,997		0
	小 計	2,125,417	16.3%	113,859	265,096	402,652	145,336	225,155	25,293	853,639	94,387		0
2	(1)物件費	1,731,999	13.2%	25,232	511,521	131,497	380,604	251,471	49,230	370,536	11,908		0
	(2)維持補修費	73,999	0.6%	46,102	13,908	769	4,685	5,315	1,270	1,950	0		0
	(3)減価償却費	3,221,259	24.7%	1,001,084	385,641	143,269	308,449	1,123,760	26,088	232,968	0		0
	小 計	5,027,257	38.5%	1,072,418	911,070	275,535	693,738	1,380,546	76,588	605,454	11,908	0	0
3	(1)社会保障給付	1,349,195	10.3%		17,339	1,304,899	26,957						
	(2)補助金等	1,255,992	9.6%	1,217	57,978	89,266	73,044	471,623	392,485	168,978	1,394		7
	(3)他会計等への支出額	1,468,583	11.2%	50,208	0	1,071,945	318,022	28,408	0	0	0		0
	(4)他団体への 公共資産整備補助金等	252,584	2.0%	119,129	0	6,834	17,752	354,535	6,930	12,547	0		△ 265,143
	小 計	4,326,354	33.1%	170,554	75,317	2,472,944	435,775	854,566	399,415	181,525	1,394		△ 265,136
4	(1)支払利息	255,257	2.0%								255,257		
	(2)回収不能見込計上額	10,392	0.1%									10,392	
	(3)その他行政コスト	1,315,622	10.0%	0	0	0	0	0	0	0	0		1,315,622
	小 計	1,581,271	12.1%	0	0	0	0	0	0	0	255,257	10,392	1,315,622
経 常 行 政 コ ス ト a	13,060,299		1,356,831	1,251,483	3,151,131	1,274,849	2,460,267	501,296	1,640,618	107,689	255,257	10,392	1,050,486
( 構 成 比 率 )			10.4%	9.6%	24.1%	9.8%	18.8%	3.8%	12.6%	0.8%	2.0%	0.1%	8.0%

## 【経常収益】

														一般財源 振替額
1 使用料・手数料 b	268,228		36,410	4,534	59,983	71,780	4,556	0	16,169	0	0		0	74,796
2 分担金・負担金・寄附金 c	77,742		5,935	219	55,998	0	301	0	12,798	0	0		0	2,491
経 常 収 益 合 計 ( b + c ) d	345,970		42,345	4,753	115,981	71,780	4,857	0	28,967	0	0		0	77,287
d/a	2.65%		3.1%	0.4%	3.7%	5.6%	0.2%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%		0.0%	
(差引)純経常行政コスト a-d	12,714,329		1,314,486	1,246,730	3,035,150	1,203,069	2,455,410	501,296	1,611,651	107,689	255,257	10,392	1,050,486	△ 77,287

# 純資産変動計算書

〔 自 平成24年4月 1日  
至 平成25年3月31日 〕

(単位:千円)

	純資産合計	公共資産等整備 国県補助金等	公共資産等整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
期首純資産残高	58,388,478	22,030,870	41,339,876	△ 4,996,229	13,961
純経常行政コスト	△ 12,714,329			△ 12,714,329	
一般財源					
地方税	1,509,564			1,509,564	
地方交付税	7,305,100			7,305,100	
その他行政コスト充当財源	699,762			699,762	
補助金等受入	2,686,139	928,103		1,758,036	
臨時損益					
災害復旧事業費	△ 303,856			△ 303,856	
公共資産除売却損益	0			0	
投資損失	0			0	
損失補償履行確定額	0			0	
損失補償等引当金繰入等	0			0	
科目振替					
公共資産整備への財源投入			△ 415,461	415,461	
公共資産処分による財源増		0	0	0	0
貸付金・出資金等への財源投入			380,200	△ 380,200	
貸付金・出資金等の回収等による財源増		0	893,657	△ 893,657	
減価償却による財源増		△ 1,138,456	△ 2,082,803	3,221,259	
地方債償還に伴う財源振替			1,487,514	△ 1,487,514	
資産評価替えによる変動額	3,525				3,525
無償受贈資産受入	0				0
その他	0	0	0	0	
期末純資産残高	57,574,383	21,820,517	41,602,983	△ 5,866,603	17,486

## 資金収支計算書

〔 自 平成24年4月 1日  
至 平成25年3月31日 〕

(単位:千円)

1 経常的収支の部	
人件費	2,322,877
物件費	1,731,999
社会保障給付	1,349,195
補助金等	1,255,992
支払利息	255,257
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	1,121,814
その他支出	377,855
支出合計	8,414,989
地方税	1,516,715
地方交付税	7,305,100
国県補助金等	1,604,178
使用料・手数料	267,057
分担金・負担金・寄附金	65,585
諸収入	179,538
地方債発行額	640,100
基金取崩額	142,791
その他収入	317,255
収入合計	12,038,319
経常的収支額	3,623,330

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	3,128,908
公共資産整備補助金等支出	252,584
他会計等への建設費充当財源繰出支出	85,485
支出合計	3,466,977
国県補助金等	1,081,961
地方債発行額	1,231,600
基金取崩額	231,676
その他収入	106,997
収入合計	2,652,234
公共資産整備収支額	△ 814,743

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	5,227
貸付金	150,000
基金積立額	923,974
定額運用基金への繰出支出	1,068
他会計等への公債費充当財源繰出支出	261,284
地方債償還額	1,939,628
支出合計	3,281,181
国県補助金等	0
貸付金回収額	26,787
基金取崩額	0
地方債発行額	310,200
公共資産等売却収入	98,760
その他収入	21,666
収入合計	457,413
投資・財務的収支額	△ 2,823,768

翌年度繰上充用金増減額	
当年度歳計現金増減額	△ 15,181
期首歳計現金残高	642,192
期末歳計現金残高	627,011

※1 一時借入金に関する情報

- ① 資金収支計算書には一時借入金の増減は含まれていません。
- ② 平成24年度における一時借入金の借入限度額は3,000,000千円です。
- ③ 支払利息のうち、一時借入金利子は1,568千円です。

※2 基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報

収入総額	15,490,158
繰越金	△ 342,192
地方債発行額	△ 2,181,900
財政調整基金等取崩額	△ 0
支出総額	△ 14,863,147
地方債元利償還額	2,193,317
財政調整基金等積立額	309,372
基礎的財政収支	605,608